

東日本ユニオン TOKYO

JR東日本労働組合東京地方本部

発行責任者 郷 重雄

発行 教宣部

2019年7月21日 NO. 97



東日本ユニオン 第7回定期大会開催！

7月13日、ホテルラングウッドにおいて「JR東日本労働組合第7回定期大会」が開催されました。大会には200名を超える組合員が結集し、大会構成員全員出席のもと一年間の運動の総括を行い、職場から要求をつくりだし「東日本ユニオンに結集させた力で要求を実現させていく」とした運動方針を満場一致で確立しました。

守屋代議員発言

現在、営業職場では何が起こっているのか？職場社友会に東労組を脱退した社員がほぼ全員加入し、労政の変更はしっかりとした計画に基づき実施されています。

インターンや公募制異動などの話を多く聞くようになりました。職場への帰属意識は希薄、労働組合の必要性を感じない状況になってしまっています。しかし、職場では他労組組合員と交流を持ち、JR内での共闘を訴えていくことを確認した。

昨年の加入から不思議と苦にならない、充実している。職場で一人でも多く加入させようと決意したが現状は厳しい。しかし、あきらめずに仲間を増やそうと。そして5年、10年後にもJR労働運動を残していこうと、今そのための取り組みをしています。



多くの代議員の発言により労働組合として東日本ユニオン運動を将来にわたって残し広める決意とともに、課題の克服にむけては地方や機関という枠にとらわれず「東日本ユニオン全体の視点を持つこと」を確認できました。

そして新たな中央執行体制のもと、東日本ユニオンの要求と組織拡大を実現させる取り組みのスタートを切りました。

東京地本選出の小宮さんは今回で会計監査員を退任されました。



小宮さん長い間お疲れ様でした！

全組合員一丸となって、さらなる組織拡大を実現しよう！